

育てよう

発行責任者 岡北地区青少年育成協議会 会長 大和田黎子



《牧石地区》

平成二十九年七月七日(金) 牧石小学校体育館に於いて、牧石地区懇談会が開催されました。

全体会では「最近の牧石学区の様子について」と題し、岡山西警察署玉柏駐在所の信江様、牟佐駐在所の前田様より少年非行について①岡山県の非行率の推移②西署管内の少年非行の実態③夏休みに入るにあたり警察よりみなさまに気を付けていただきたいこと、学区内での交通事故の現状・最近の事故の特徴などをお話しいただき、とても参考になりました。

岡山県の少年非行については非行率が右肩下がりで減少しており、よい傾向に見えるが、他県に比べると非行率が高く、全国ワースト3(平成二十八年)でした。岡山西署管内では、少年犯罪のうち中学生が占める割合は四十八%と若年化しており、主な手段として万引きや、自転車・オートバイの窃盗が九割を占めているそうです。また、最近ではスマートフォンやタブレットの所持率が高く、LINEやツイッターなどのSNSや出会い系のアプリなどでのトラブルも急増しています。使い方については、今一度、ご家庭でもお子さんと一緒に話し合ってくださいとのことでした。

その後、分散会において地区ごとの懇談会を行いました。地域での岡北中学校の生徒の様子や、牧石地区の交通マナーの実態、危険箇所の確認などの意見交換をいたしました。危険箇所として、交通量が増え、車と自転車が同時に混み合う原地区の水川医院前の交差点が挙げられた他、県道での人身事故(自転車同士の接触・歩行者との接触)なども発生しており、危険との意見もありました。

元気なあいさつができていたという嬉しい報告の一方、並列走行・ヘルメット不着用・通学路以外の通行・歩道は歩行者優先ということの認識不足などのご意見もいただきました。

子どもたちの安全について、地域・学校・家庭が協力できる地区であることに感謝するとともに、誰もが安心して過ごせる地区となるよう、家庭でも正しい自転車マナーについて確認が必要だと思います。

(岡野 記)



牧石小学校 体育館

《御野地区》



岡北中学校 体育館

「不審者に遭遇した時の対応・対策【すぐに離れる・大声を出す・周りに助けを求める等】について確認しておく」ということや、有事の際にはまず警察に一報を入れてほしいとのことをお話をいただきました。

続いての分散会では、地区ごとに分かれて懇談を行い、地域の交通マナーの実態・危険箇所の確認・子どもたちの様子などについて話し合われました。御野地区全体としては、落ち着いた環境が保たれている一方、交通環境や危険箇所など地区それぞれ抱えている課題も見られるなど、適切な対策の必要性を認識する会合となりました。

今回も保護者以外の地域の方々にも多数ご参加いただきましたが「子どもたちの意見も聞いてみたい」「保護者の参加が少なく、懇談の意味をなさない」等の貴重なご意見をいただきました。保護者も含め、地域全体の大人が子どもたちの健やかな育成に携わっていくことの大切さを改めて痛感し、今後の地区懇談会の在り方にも反映させていかなければならないと感じました。

地区懇談会へのご理解をいただき、ぜひ一人でも多くの保護者の方々がご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

(渡邊 記)



牧石小学校 地区懇談会



牧石小学校区は大変広く、登下校や安全などの話題は、地区をまたがる事が多くあり、毎年地区懇談会を開催して情報・意見交換をしています。地域の方・駐在所の方・先生方・保護者・児童合わせて一〇四名の方に来校いただき、地域の方々の結びつきの強さと、子どもたちへの深い愛情を改めて感じる事ができる会となりました。

学校での取り組みとして、あいつつ運動や年四回の避難訓練、『がんばる学校応援授業優良実践校』に選出されたことなどのお話がありました。中でも驚いたのが、耐震化工事で遊び場が少なくなった時の取り組みで、ボール使用可能場所をわかりやすくしたり、入れない場所にコーンを置いたり子どもたちがスタンプラリーを作って遊びの紹介をしたりと、工夫して安全に過ごせたことを写真提示で分かりやすく伝えていただきました。

駐在さんからは、地域の見守りのもと、子どもたちは落ち着いて登下校できていることや交通量が多いこと、用水路も水位変化が大きいので注意が必要などのお話がありました。防犯等のチラシの説明もあり、補導交通部からはSOS子ども駆け込み一〇番のお礼や、合同用水ロープ張りについてのお話をしました。

各地区での話し合いの中で、中原橋東側土手の信号機が話題に挙がり、点滅信号でスピードを落とさずに通行する車があるの、信号が青でも容易に渡らないように声掛けが必要であり、町内と旭川荘とで信号の改良について市と協議中との報告もありました。

このように色々な立場の方から意見をいただくことで今まで気づけなかった危険な場所や視点がわかり、さらに気を配っていきたいと思いました。そして、このようにたくさんの方の目でも子どもたちを温かく見守ってくださり、ありがたく心強いと感じられる会となりました。

(増成 記)

御野小学校 地区懇談会



平成二十九年六月一日(土)
御野小学校体育館に於いて、地域の方々・職員・保護者・児童合わせて一六名の参加のもと、地区懇談会が開催されました。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございます。

今年度は、任意団体Cuatro cicio代表の大川修一氏を講師にお迎えし、地域のみならず一緒に防災について考えました。『未曾有の災害に備える!』という講演は、近年災害発生時に行政に頼り過ぎて自らの判断で意思決定ができなくなっているという問題点に触れ、「自分の命を自分で守る」という根本的な認識の必要性を考えさせられるものでした。

講演後は、各地区に分かれて水害(大雨)時の危険箇所や、通学路の危険箇所の情報交換を行い、ハザードマップを作成しました。体育館内には防災に関する展示物や、段ボールとゴミ袋で作ったドームテントを設置し、新聞紙等を使用して簡易防災グッズを作る子ども工作コーナーを設けました。低学年の児童もドームテントに入ったり、簡易スリッパやマスクを作成して身につける姿が見られました。この懇談会をきっかけに、家庭のみならず地域の方々とも一緒に防災について考えていけたらと思います。

地区懇談会は、大切な情報交換の場であり、地域の方と保護者・児童が顔を合わせ、交流を深めることのできる貴重な機会です。少しずつ視点を変えて、地域のみならず触れ合えたらと考えておりますので、今後もより多くの方のご参加をよろしく願っています。

(品川 記)

主任児童委員は セーフティネットの一員です



日頃、地域で活動している民生委員の中で子どもや子育て家庭など、子どもへの福祉を専門に活動しているのが、私たち「主任児童委員」です。

一〇年前、岡山で始まった済世顧問制度が基になって創立された民生委員制度は、県民の困窮を支える制度であったのですが、七〇年前には児童福祉法により、民生委員は児童委員を兼ねることが定められ「民生委員・児童委員」と名称も変わりました。その後、子どもを取り巻く環境は複雑になり、平成六年に児童福祉法について専門に扱う「主任児童委員」が誕生したのです。

岡北中学校区では、御野・牧石小学校区に各二名の主任児童委員が「地域の身近な相談相手」「見守り役」「専門機関へのつなぎ役」として活動しています。学校行事や児童クラブ・親子クラブへの参加、妊娠や子育ての不安、生活上の心配事などの相談に応じ、必要な支援が受けられるよう行政や専門機関とのパイプ役となっています。また、園や学校、児童相談所や保健師さんと協働しながら課題を抱えた子どもや家庭の支援も行います。

活動の例を挙げると、幼稚園の保護者の方が家庭問題で園長先生に相談された時に紹介されて同席し、問題解決に向けて助力することができたことや、先生が早口で話されるので授業が理解できないと、お子さんがお家で話されたこと聞き、学校に伝えて改善に向けて動いていただいたことあります。また、人間関係の悩みや不安をゆつくり聞いてさしあげると「話すことで楽になった。またがんばれます。」と喜んでくださる方もいらっしゃいました。民生委員・児童委員・主任児童委員には法律により「守秘義務」があるので、安心して悩みや不安をお話しいただけます。

《地域の子どもは地域で育てる》先日、すっかり辺りが暗くなった頃「おばあちゃん」と何度も呼ぶ子どもの声に表に飛び出してみると、ご近所の方も何人も顔を出して心配してくださっていました。遅れて来る祖母を呼んでいただけでしたが、地域の方々の見守りのありがたさをつくづく感じました。

近隣住民の関係が希薄化する中で、人と人とを繋ぎ、子どもや子育て家庭が孤立しないように、社会のセーフティネットの一員として活動することで、地域を支えていくのが、私たち主任児童委員の役目と感じています。

御野地区主任児童委員 長壽和子 大塚邦江
御野地区主任児童委員 前田洋子 金谷恵子

《グラウンドゴルフ大会》

地域の子どもの健全育成活動のひとつとして始まり、今年で十八回目となるグラウンドゴルフ大会が平成二十九年十一月二十六日(土) 岡北中学校グラウンドで行われました。

地域の方々、小中学生など総勢七十二名が参加し、混成三人チームで南・北各八ホールの合計打数で競技を行いました。中には初めて競技する子どもたちもあり、大人の方々の指導を受けながら和気あいあいと楽しめました。

競技終了後に団体・個人一位から三位とホールインワン賞に豪華賞品が贈られ、全員に参加賞が渡されました。

ここ数年、小学生や地域の方の参加が少ないのですが、グラウンドゴルフはルールも簡単で老若男女問わず楽しめます。来年はぜひ多くの方のご参加をお願いします。

《巡回保導》

今年度も巡回保導部を中心に、育成協議会員・小中PTA役員・教員で十五カ所のお祭りの保導活動を行いました。

どのお祭りも特色があり、多くの家族連れの方が来てお祭りを楽しんでいました。特に2017みのサマーフェスタ・旭川荘祭りでは色々な催しや出店があり、盛り上がりがありました。みのサマーフェスタでは中学生の参加や手伝いもあり、児童・生徒も多く来ていましたが、特に注意や指導をする必要はありませんでした。多くの方々のおかげで、今年も無事に保導活動を終えることができました。

活動がとうございりました。
(濱中 記)

《編集後記》

今回、主任児童委員の方に活動の様子をうかがい、どのような活動をされているかをよく知ることができました。このように岡北地区青少年育成協議会では地域の子どもたちが健全に育つよう、見守っています。

今後とも、岡北地区青少年育成協議会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

(中田 記)